

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	変形性膝関節症、関節リウマチ、特発性膝骨壊死の膝関節形態に関する画像解析研究		
1. 研究の目的と方法	変形性膝関節症や関節リウマチおよび特発性膝骨壊死では保存療法が無効な場合は人工膝関節置換術などの手術療法が選択されます。近年、X線像の解析によりその患者さんが本来もってうまれたであろう「生来の」膝関節形態を逆予測する研究もなされてきております。手術において従来法の「まっすぐな」膝を再建すべきか、「生来の」膝を目指して再建を行うかの優劣は未だ明らかにはなっておりません。しかし、今後いずれの手術手技を選択するにしても、まずは各疾患の膝関節形態を明らかにすることは術前計画を立てるのに有用であります。本研究では患者さんの立位下肢全長X線像の解析から、本邦での各疾患における術前後の膝関節形態の評価に加え、「生来の」膝関節の形態を明らかにすることにより、今後の手術手技の検討に役立てることを目的としたものです。いずれもカルテの情報を収集し、評価・検討を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030年8月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	変形性膝関節症、関節リウマチおよび特発性膝骨壊死患者さんで、2014年1月1日～2025年7月31日の間に東京慈恵会医科大学附属病院で膝関節手術を受けた18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	研究対象者の基本情報:年齢、性別、身長、体重 疾患情報:疾患名、手術名 画像検査所見:単純X線像（膝関節、立位下肢全長）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 整形外科科学講座
		氏名	斎藤 充
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 整形外科科学講座 大森俊行	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 10 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 研究責任者：教授 斎藤 充（さいとう みつる） 窓口担当者：助教 大森 俊行（おおもり としゆき） 電話番号：03-3433-1111（内線 3441） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。